**企画提案書の作成方法**

別紙

# １　共通規定

## （１） サイズ・ページ数など

原則A4サイズ横向き、上とじ

## （２） 文字サイズ

本文の文字サイズは、12ポイント以上（書体問わず）

## （３） ページ数

20ページ以内

# ２　提案内容

下記（１）「市報の課題と展望」を踏まえ、提案項目に従い、提案書を作成してください。

## （１） 市報の課題と展望

### ①課題

・現在、市からの一方向の情報発信が中心で、地域や市民の情報を共有する内　　容が不足している。

・市のオウンドメディア（公式ホームページ）及び各種SNS（LINE、X、Facebook、YouTube、Instagram（キタマガ））との連携・連動が十分できていない。

　　・デザイン・編集作業を内製しており、市報の制作において、取材や企画立案する時間が十分に取れていない。

　②展望

　　・「市民と市が共創する地域の情報プラットフォーム」を目指します。

・一方向の「情報発信」ではなく、地域や市民の多様な視点を取り入れた「情報共有」を充実させ、読者参加型コンテンツの導入を検討します。

・市のオウンドメディアやSNSとの連携を強化し、多チャネルでのシームレスな情報発信を実現します。

・市と委託事業者が、対等なパートナーとして協力し、効率的な制作体制を整え、質の高い企画・取材を通じて地域の魅力を最大限に発信できる媒体を構築します。

（２） 提案項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 項目 | 記載内容 |
| １ | 課題・問題点、  改善点 | 1. 現在の市報の課題・問題点をご提示ください。 2. 上記①の課題・問題点について、具体的な改善案をご提示ください。 |
| ２ | 制作の考え方 | 【特集記事（大特集）の考え方】  今後、特集記事については、可能な限り、「市民」にスポットを当てた内容を中心にしていきたいと考えています。  読者に興味を持っていただける企画や見せ方などをご提案ください。また、過去の実績などを含めて、企画を提案する際の考え方などをご提示ください。  【取材時の考え方】  特集記事では、市民の方などにインタビューを行っていただきます。過去の実績などを基に、インタビュー時の体制や大切にしていることをご提示ください。また、インタビュー原稿作成の上で大切にしていることもご提示ください。  【イラスト作成】  制作にあたって、企画にあったイラストを使用したいと考えています。イラストレーターへ作成を依頼する際の進め方をご提示ください。 |
| ３ | 業務の管理体制・制作体制 | 1. 市民の方から信頼を得られる情報発信には、正確性が欠かせないと考えます。市報を制作する際には、文章は原則、「記者ハンドブック」に沿い、市の修整指示に基づき誤りのない校正をしていただきたいと考えています。本業務を確実に実施・履行するための組織体制をご提示ください。 2. 急な臨時号の発行（別途契約）や大規模災害の発生、誤植による刷り直し、作成工程終盤の急な原稿の差し換えなどを依頼する場合が考えられます。緊急事態や不測の事態に対応する体制をご提示ください。 |
| ４ | 自由提案 | 市報をよりよくするための提案がある場合は、自由提案として追加することを可とします。自由提案を追加する場合は、これまでの実績に基づき、具体的な内容をもって提案してください。  自由提案は必須でありませんが、評価点の加点対象とします。見積りについては、自由提案も含めて、委託料の上限額を超えないようにしてください。 |

# ３　留意事項

・市報と市公式ホームページのすみ分け・バランスとして、文字数が制限される市報は「必要な市政情報の存在に気付いてもらう、概要を把握してもらう、次の意識変容・態度変容につながる動機を喚起する」という役割を担い、文字数の厳しい制限がない市公式ホームページは詳細情報を確認してもらう、という役割を基本的な考え方とする。

・記事は原則横書きとし、文体の整理・校正に当たっての用語表記については、原則、共同通信社の「記者ハンドブック」を基に体裁を整える。